

【高大連携歴史教育研究会 会員様対象】 オンライン書籍展示(新刊案内)

特別割引販売のご案内

○下記の方法にて当会への直接ご注文の場合のみ、特別価格[定価の2割引]
を適用させていただきます。当会刊行書籍全点(当パンフレットに掲載され
ていない書籍も含む)が対象となります。合計金額5000円以上のご注
文の場合は国内送料無料で承ります。(合計5000円未満の場合は、送料360円)

○ご注文は、Eメール(件名「高大連携歴史教育研究会オンライン書籍展示注文」、
にて2020年8月31日までにお申し込み下さい。書店でのご注文にはご利用頂けません。

○ご注文の際には、「お名前」「ご住所」「お電話番号」「ご注文内容」をご記入ください。

○公費のご購入の場合は、請求書類等のご指定もあわせてお願い申し上げます。

○書籍到着後のお支払いは、同封の郵便振込票をご利用下さい。

(お申込み・お問い合わせ先)

e-mail: info@osaka-up.or.jp

TEL: 06-6877-1614

FAX: 06-6877-1617

<http://www.osaka-up.or.jp>

大阪大学出版会



阪大リーブル72

グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育 日本史と世界史のあいだで

秋田茂, 桃木至朗 編著

四六判 358ページ 並製 定価2300円＋税 ISBN978-4-87259-640-3 C1320

世界史と日本史を統合した思考力重視の高校歴史系必修科目「歴史総合」の新設を受けて、大学でも教養課程レベルの歴史教育改革の必要性が高まっている。本書は大阪大学で試行されてきた授業をもとに、既成の区分を超えた新しい歴史学方法論を提示しグローバルヒストリーと大学歴史教育をつなぐ、新たな教科書である。

(1)広範な地域をカバーし、欧米中心史観を相対化できる

(2)古代から現代までを通時的にカバーし、前近代(古代から近世)を含む

(3)高校教員との緊密な協力により高大連携を意識した内容であることを強みとする。

『歴史学のフロンティア』『グローバルヒストリーと帝国』『グローバルヒストリーと戦争』に続く意欲作。



7刷出来

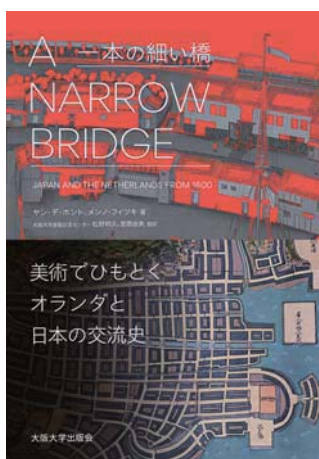
市民のための世界史

大阪大学歴史教育研究会 編

秋田茂, 荒川正晴, 栗原麻子, 坂尻彰宏, 桃木至朗 著

四六判 316ページ 並製 定価1900円＋税 ISBN978-4-87259-469-0 C1320

カリキュラムの矛盾や入試問題に災いされて、高校生の歴史認識は後退している。本書はそのような現状を跳ね返し、歴史を学ぶ意義や面白さを知ってもらうことをモットーに、全国の高校教員と協力して作られた。人名や年号は極力減らす、「像を結ぶ」「因果関係や背景がわかる」説明を目指す、要所に学習者への問いかけを挟むなど様々な工夫をして、歴史に親しむ習慣を養う。市民向けや入試の副読本にも使える画期的な教科書。



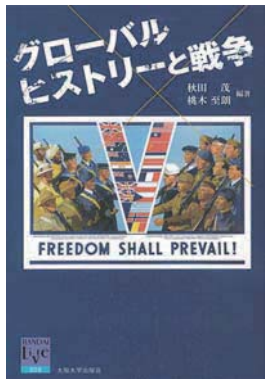
A Narrow Bridge (一本の細い橋)

美術でひもとくオランダと日本の交流史

ヤン・デ・ホント (Jan de Hond), メンノ・フィツキ (Menno Fitski) 著／
松野明久, 菅原由美 翻訳

B5変判 256ページ 並製 定価6000円＋税 ISBN978-4-87259-701-1 C0020

本書は、アムステルダム国立美術館とオランダの出版社Vantiltの共同出版物『A Narrow Bridge: Japan and the Netherlands from 1600』の翻訳書で、同美術館及び他機関所蔵の美術工芸品等を美しい写真で見せながら、4世紀にわたる日蘭関係史の大きな流れを解説するものである。収載された国家間の関係を物語る豪華な献上品や貴重な歴史資料、および同美術館所属の日本文化研究者とオランダ史研究者の合作によるテキストは、それらの品々が伝える意味を解きほぐし、それぞれの時代に生きた人びとを生き生きと描き出しており、類書にない特徴となっている。



阪大リーブル56

グローバルヒストリーと戦争

秋田 茂, 桃木至朗 編著

四六・並製・352頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-87259-437-9 C1320[2016]

第二次世界大戦時にイギリスで作られたこのポスターから、戦争がヨーロッパ全土、アメリカ、豪州、ソ連、中国、インド、植民地を動員する総力戦だったことがわかる。本書は、古代から現代までの戦争を、グローバル、リージョナル、ナショナル、ローカルの四層から鳥瞰した、『グローバルヒストリーと帝国』に次ぐ意欲作。



阪大リーブル056

グローバルヒストリーと帝国

秋田 茂, 桃木至朗 編

四六・並製・224頁 定価(本体2,100円+税) ISBN978-4-87259-426-3 C1320[2013]

グローバルヒストリーとは、国境と地域を越えて地球的規模で展開する人類史の課題の考察であり、本書では広域支配を目指す「帝国」に焦点が絞られる。しかも、西欧中心史観を相対化するため、アメリカや西欧の帝国にとどまらず、モンゴル帝国や日本帝国も重要な柱になっている。好評を博した前著『歴史学のフロンティア』に続き、大阪大学の挑戦として新たな歴史学方法論を提示する。



阪大リーブル008

歴史学のフロンティア

秋田 茂, 桃木至朗 編

四六・並製・266頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-87259-241-2 C1320[2008]

グローバル、リージョナル、ナショナル、ローカルの「四層構造」で世界をとらえるー新しい歴史学方法論を提示本書は、大阪大学の歴史系研究者によるリレー講義「歴史学方法論講義」の成果である。旧来の伝統的な歴史学研究の枠組みを、アジア地域研究や、日本史をとりこんだ世界史研究(グローバルヒストリー)の観点から見直し、新たな切り口・見方を提示しようと試みる。



阪大リーブル013

わかる歴史 面白い歴史 役に立つ歴史

桃木至朗 著

四六・並製・270頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-87259-249-8 C1320[2009]

この数年、大阪大学の史学系教員と高校世界史の教員が連携して、世界と日本の歴史学と歴史教育のあり方について、研究会を開いてきた。本書はその成果のまとめであり、次の3点が重視される。①若者の「歴史離れ」にどう対処するか。歴史の面白さはどこにあるか。②高校の歴史教育と大学・大学院の歴史研究を連続したものとして捉える。③「日本を含むアジア史」を重視し、西洋史、東南アジア史、日本史を連続して捉える。阪大歴史学の結晶。

ウイグル文契約文書集成 Sammlung uigurischer Kontrakte

山田信夫 著／小田壽典, Peter Zieme, 梅村 坦, 森安孝夫 編

B5・上製 定価(本体29,126円＋税)【3巻セット函入・分売不可】 SBN978-4-87259-001-2 C3022 [1993]

本書は、故山田信夫大阪大学名誉教授がライフワークとしたウイグル文契約文書研究の成果を世に問うものである。ウイグル文書は10—15世紀における中央アジアの社会構造の現実を直接語る世界第一級の史料。共同研究者であった日独の編者4氏は山田教授の遺志を継いで追加調査・補訂作業を遂行、5年の歳月を費やして本書を完成した。



大阪大学新世紀セミナー

邪馬台国から大和政権へ

福永伸哉 著

A5・並製・94頁 定価(本体1,000円＋税) ISBN978-4-87259-117-0 C1321 [2001]

「卑弥呼の時代はいつですか」で始まる本書では、中国史書の2C末-3Cとする内容が正しいかどうか、考古学的に検証していく。特に古墳の出現や銅鏡の分析、土器の様式変化に注目して「庄内式」土器の時期が、邪馬台国つまり卑弥呼の時代に相当すると考える。また、大和政権は大和盆地の東南部から、河内・和泉へと移動して巨大古墳が築造されていることに注目し、東アジアの情勢のなかで時代を描く。



阪大リーブル4

ドイツ文化史への招待 芸術と社会のあいだ

三谷研爾 編

四六・並製・294頁 定価(本体2,000円＋税) ISBN978-4-87259-237-5 C1322 [2007]

中欧を舞台にくりひろげられてきた、近代ドイツの芸術と社会のせめぎあい。その歴史を「表現活動と日常生活との密接なつながり」「ドイツとユダヤの共存の夢」「現代社会と切りむすぶモダニズム芸術の挑戦」の3つの位相から追っていく。著名な作家、芸術家、学者の人間像が生き生きと描かれ、市民の日常生活が照らし出される。ドイツが生んだ芸術文化の奥行きにふれる、読みごたえあるガイドブック。



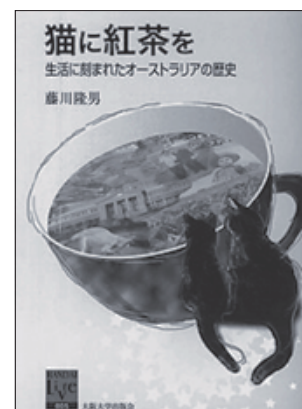
阪大リーブル5

猫に紅茶を 生活に刻まれたオーストラリアの歴史

藤川隆男 著

四六・並製・240頁 定価(本体1,700円＋税) ISBN978-4-87259-238-2 C1322 [2007]

見開き完結で楽しめる99の物語を旅しながら、古くて新しい国オーストラリアの日常生活に刻まれた地下水脈の歴史をたどる。「歴史」となった事実、消えていった「事実」。両者を分けるものに目を向けると、気づかなかった「今」が見えてくる。歴史家がユーモアたっぷりに語る、グローバル社会でのオーストラリアのあじわいかた。





大阪大学総合学術博物館叢書3

城下町大坂 絵図・地図からみた武士の姿

大阪大学総合学術博物館、大阪歴史博物館 監修

A4・並製・102頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-87259-213-9 C1321 [2008]

大坂は、250年以上にわたって幕府直轄領とされてきたにも関わらず、商人の町と考えられてきた。江戸時代、大坂城はどのような存在意義をもち、そこを舞台に武士たちはどのような活動をしていたのか。城下町の動きとともに、殿様が居住しない城と、町人の生活に入り込んで城を管理する譜代大名や旗本たちの生活を、カラー図版と詳細な解説で取り上げる。書籍初掲載の貴重絵図を含む、知られざる大坂の歴史。



近世武家地の住民と屋敷管理

渡辺理絵 著

A5・上製・228頁 定価(本体5,200円+税) ISBN978-4-87259-228-3 C3021 [2008]

本書は、近世武家地社会の屋敷管理と住民把握についての本格的な研究書である。近世米沢の城下町絵図を足がかりに、他藩の史料も参考にしながら、絵図の様式の変化、武士の屋敷観、武家地管理政策、異動に関する願書、藩庁から家臣への触書などを、豊富な絵図や表をもとに綿密に分析し、また、宗門人別改帳が当時の社会に及ぼした影響にも一章をあて、近世武家地に生きた人びとの姿を描き出す。



大阪大学総合学術博物館叢書4

映画「大大阪観光」の世界 昭和12年のモダン都市

橋爪節也 編著

A4・並製・96頁 定価(本体2,400円+税) ISBN978-4-87259-214-6 C1321 [2009]

戦前の観光映画「大大阪観光」に映し出された風景に従いながら水都大阪の重要テーマを取りあげる。そこには工場地帯の煤煙や水上生活者など都市問題も多く含んだ繁栄の陰の部分も見え隠れしている。

【目次概略】 大阪見物／観光艇の活躍～中之島から大阪港へ／都市問題／都市観光という「迷宮」／ほか



阪大リーブル8

歴史学のフロンティア 地域から問い直す国民国家史観

秋田 茂、桃木至朗 編

四六・並製・268頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-87259-241-2 C1320 [2011]

本書は、日本史、東洋史、日本学、経済史、比較文明論、美術史など歴史学に関係する著者が、最新の研究成果をつきあわせ、歴史学の既存の区分を越えて新しい方法論を考察する試みである。近年の国民国家論の見直し、グローバル化にともなう一国的な研究の限界と問題、世界各地の地域統合を反映した、リージョン、ローカルエリア、グローバルの文脈を取り入れ、国民国家的な歴史像を相対化する。

カティリーナの陰謀

C. = サルススティウス = クリспス 著／合阪 學，鷺田睦朗 訳

A5・並製・174頁 定価(本体2,400円＋税) ISBN978-4-87259-274-0 C3022 [2008]

ローマ共和制 BC63年に起こったカティリーナのクーデター未遂の陰謀事件は、二つの著作によって有名である。一冊はキケロの弾劾演説であり、もう一冊が歴史家サルススティウスの著した本書である。

ヨーロッパで2000年以上にわたって読み継がれてきた重要な古典を、西洋古代史の専門家が翻訳する。詳細な訳注と解題・論考を付し、著作の内容や時代背景についての理解を深めてくれる。



近代日本の地図作製とアジア太平洋地域 「外邦図」へのアプローチ

小林 茂 編

B5・上製・512頁 定価(本体7,600円＋税) ISBN978-4-87259-266-5 C3025 [2009]

近代の日本は、アジア太平洋地域について、多数の地図を作製してきた。第2次世界大戦の終結まで、戦争や植民地経営にむけて作製されてきた地図は、「外邦図」と呼ばれている。本書は外邦図の作製のプロセスや来歴を研究し、学術資料として再生したものである。外邦図の所在、台湾・朝鮮・樺太・千島など東アジアや南西太平洋の地図の作製過程、空中写真、土地測量の記録、韓国における軍用秘図の意義など、本邦初の外邦図研究。



2010年日本地理学会賞(優秀賞)

阪大リーブル13

わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史 歴史学と歴史教育の再生をめざして

桃木至朗 著

四六・並製・272頁 定価(本体2,000円＋税) ISBN978-4-87259-249-8 C1320 [2009]

この数年、大阪大学の史学系教員と高校世界史の教員が連携して、世界と日本の歴史学と歴史教育のあり方について、研究会を開いてきた。本書はその成果のまとめであり、次の3点が重視される。①若者の「歴史離れ」にどう対処するか。歴史の面白さはどこにあるか。②高校の歴史教育と大学・大学院の歴史研究を連続したものとして捉える。③「日本を含むアジア史」を重視し、西洋史、東南アジア史、日本史を連続して捉える。阪大歴史学の結晶。



阪大リーブル15

主婦になったパリのブルジョワ女性たち 100年前の新聞・雑誌から読み解く

松田祐子 著

四六・並製・304頁 定価(本体2,100円＋税) ISBN978-4-87259-300-6 C1322 [2009]

19世紀末から20世紀初頭のパリ・ブルジョワ女性の日常生活を、結婚・子育て・家事・家政という4つのテーマに即して描きながら、家事と家計を担い、妻・母としての役割を果たす「主婦」像が形成された歴史的背景を当時の雑誌記事とともに解明する。彼女たちの意識や行動が、現代日本の女性たちの生き方に大きな影響を与えていることを示し、その根底に流れる女性の生き方の問題について考える。





大阪大学総合学術博物館叢書6

東洋のマンチェスターから大大阪へ 経済でたどる近代大阪のあゆみ

阿部武司，沢井 実 著

A4・並製・96頁 定価(本体2,100円＋税) ISBN978-4-87259-216-0 C1321 [2010]

大阪に近代の繁栄をもたらした諸産業の状況を解説する。豊富なカラー図を年代順に展開し、現代まで続いているメーカーのなつかしい広告やポスターを大判のカラー図で紹介している。いまではかえって新鮮なデザインと感じられるものも多い。



古墳時代史の展開と東北社会

菊地芳朗 著

B5・上製(函入)・408頁 定価(本体6,800円＋税) ISBN978-4-87259-268-9 C3021 [2010]

古墳築造の北縁を刀剣類から実証的に検討した意欲作。地域史にとどまらず日本列島の国家形成、民族形成についても論じる。

【目次概要】 1 刀剣類から見た古墳時代史の展開 2 東北の古墳と政治構造 3 東北古墳時代の集落と生産 結 古墳時代史のなかの東北



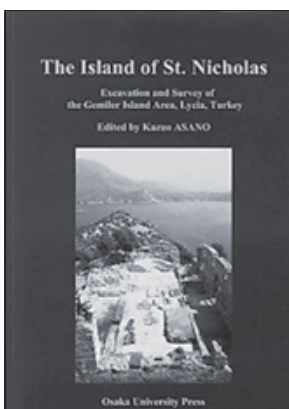
武器と弥生社会

寺前直人 著

A5・上製・354頁 定価(本体5,500円＋税) ISBN978-4-87259-232-0 C3021 [2010]

副葬品、ヤジリ等の分析により、武器は農耕用具より数百年遅れて強化されてくることを実証。

【目次概要】 序章 本書の目的と課題／第1章 武器の型式学第2章 武器の伝来／第3章 金属器時代の武器－弥生時代中期における新たな展開－／第4章 石製短剣と社会／第5章 武器と儀礼／終章 武器と弥生社会



(英文) The Island of St. Nicholas

浅野和生 編著／福永伸哉 他著

A4・上製・304頁 定価(本体10,000円＋税) ISBN978-4-87259-361-7 C3070 [2010]

10年にわたり発掘調査した、トルコ南西部、リキア地方にあるビザンティン遺跡の包括的調査とその中心的建築物であるゲミレル島第三聖堂の発掘調査の英文記録、報告集、本文編と図版編(カラー多数)。

ベルリン・歴史の旅 都市空間に刻まれた変容の歴史

平田達治 著

四六・並製・324頁 定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-87259-308-2 C1322 [2010]

第一次大戦の敗北と虚脱、激しいインフレ、ワイマール共和国の首都、ナチス支配の中心、そして壁建設と東西冷戦の最前線へ。20世紀を通し、ベルリンほど歴史の荒波に翻弄された都市はない。ユダヤ系の文人や芸術家が活躍し、独自の都市文化を生んだ都市。毎年のように現地を訪問し、陰と陽の両側面からベルリンの魅力的貌を紹介。



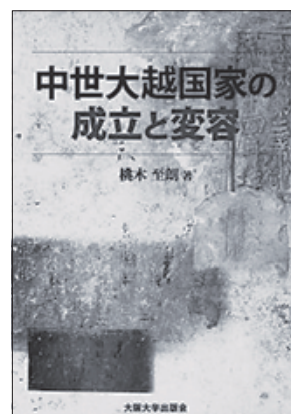
中世大越国家の成立と変容

桃木至朗 著

B5・上製・482頁 定価(本体9,500円+税) ISBN978-4-87259-381-5 C3022 [2011]

「北部ベトナム」と呼ばれる地域が10世紀に中華帝国の支配から「独立」した。本書は、ベトナム史で「李陳時代」と呼ばれ、李と陳の二王朝が継起した11-14世紀の社会経済的・政治的变化を研究対象とする。

[主要目次] 一・李陳時代の農業社会と土地制度 二・金石文に見る14世紀の農村社会 三・10-15世紀の南海交易と安南国家 四・10-15世紀の対外関係と帝国意識 五・一家の事業としての李朝 六・李朝の地方支配 七・一族の事業としての陳朝 八・陳朝の地方支配



大阪大学新世紀レクチャー

ドイツ現代史探訪 社会・政治・経済

鳩澤 歩 編著

A5・並製・210頁 定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-87259-297-9 C3022 [2011]

政治、経済、思想、生活、市民運動などさまざまな側面からの、若い世代の歴史感覚を生かしたドイツ現代社会の実感的同時代史。壁崩壊から今日までの政治史、経済史を説いた1部と、歴史認識を軸にした現代の思想状況、東独に生きた人びとの過去と現在、ドイツの中のマイノリティの状況などを論じた2部から構成される。過去の歴史に向き合いつつ、未来を指向し、EUを領導するまでに発展したドイツを理解する最適の書。



東アジアのナショナリズムと近代 なぜ対立するのか

米原 謙、金 鳳珍、區 建英 著

四六・上製・346頁 定価(本体3,700円+税) ISBN978-4-87259-383-9 C3022 [2011]

本書の目的は、今日も日本・韓国・中国の間で発現するナショナリズムの対立の根はどこにあるのかを、近代の歴史に沿ってその内面から理解することにある。ナショナリズムとは国民的自尊心の表現であり、その根拠はナショナル・アイデンティティ(集団としての国民の存在を価値づけるもの)であると著者はいう。三国それぞれのナショナル・アイデンティティの発現の形と他者の歴史認識を確認し、自己のナショナリズムの根拠を東アジア地域の相互関係の中で理解することをめざす。





カリブ海に浮かぶ島 トリニダード・トバゴ 歴史・社会・文化の考察

北原靖明 著

A5・並製・240頁 定価(本体3,200円+税) ISBN978-4-87259-415-7 C3200 [2012]

西アフリカからの奴隷やインド人年季労働者によって開拓されたトリニダード。アフリカ系クレオールとインド系住民の葛藤や、著名な歴史家で独立後初の首相E・ウィリアムズの苦闘、セルヴォンやノーベル賞作家ナイポールら作家の活躍、カーニバルやカリプソ…多元的価値を内在するカリブ海の国の初の総合的研究。



阪大リーブル37

幕末鼓笛隊 土着化する西洋音楽

奥中康人 著

四六・並製・254頁 定価(本体1,900円+税) ISBN978-4-87259-319-8 C1373 [2012]

幕末鼓笛隊は欧米列強に対抗するために西洋式の軍事訓練がなされ、メロディを吹く篠笛とリズムを刻むスネアドラムによる軍楽隊として誕生した。その後は廃藩置県により消滅したが、じつは地域社会の祭礼と結びついて今も生き残っている。著者は各地の鼓笛隊を調査し、維新後から継続している数団体と、その後復活した約10の団体を調査し、文化接触による伝統音楽の変容と適応について紹介する。



大阪大学総合学術博物館叢書8

ものづくり 上方“酒”ばなし 先駆・革新の系譜と大阪高等工業学校醸造科

松永和浩 編著

A4・並製・96頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-87259-218-4 C1321 [2012]

日本列島の酒の歴史において、上方は生産・技術に重要な役割を果たした。江戸時代の伊丹・池田・灘の酒の生産は経済の繁栄をもたらしただけでなく社会・文化にも広く影響を及ぼした。近代になって西洋のビール・ワイン・ウイスキーの技術開発は大阪高等工業学校の醸造学科が先駆を担い、事業としては吹田(アサヒビール)山崎(サントリー)などで生産が開始され全国各地へ広がった。これらの変遷を楽しく紹介する。



近世幕府農政史の研究 「田畑勝手作の禁」の再検証を起点に

本城正徳 著

A5・上製・384頁 定価(本体5,800円+税) ISBN978-4-87259-412-6 C3021 [2012]

高校教科書にも登場する通説「田畑勝手作の禁」を問い直し、幕府商品作物政策の実情を明らかにする。従来の近世農政史理解に修正を迫る研究。
【主要目次】「田畑勝手作の禁」の再検証／幕府検地・検地条目と商品作物／紅花と藍作／綿作と貢租制度／近世前期幕府商品作物政策の構造と論理／享保改革期農政と商品作物／享保改革期貢租政策と石高制＝近世貢租体系の変容・転換

中国先史集落の考古地理学研究

王 妙發 著

B5・上製・418頁 定価(本体8,000円+税) ISBN978-4-87259-398-3 C3022 [2012]

中国大陸における先史時代の定住集落の形成から初期都市の成立に至る現象について、考古地理学の角度から、膨大な資料や文献をもとに二十年にわたり丹念かつ精緻に分析、研究した成果を総括した労作。黄河流域や北方及び東北地域の先史集落について、分布、立地、人口、定住、規模、内部構造等について詳述するとともに、黄河及び長江流域の13ヶ所の遺跡を地理学的意義を有する初期都市として認定するなど新知見を紹介。



第12回 東南アジア史学会賞

共進化する現代中国研究 地域研究の新たなプラットフォーム

田中 仁、三好恵真子 編

A5・並製・364頁 定価(本体3,900円+税) ISBN978-4-87259-394-5 C3022 [2012]

「共進化」とは、相互に進化することによって自分たちの環境が動的に変化し続け、その結果単独進化に比してよりすぐれた行動を導くことができるという意味を含む。それぞれのディシプリンをもつ歴史家など14名の研究者が継続的な対話を行い、その成果を本書にまとめる。グローバル大国・中国を、政治・経済・貿易や安全保障の面から論じる第一部と、モンゴルや台湾との関係で論じる第二部、日本との関係で論じる第三部から成る。



歴史・地理・民俗

近世江戸商業史の研究

賀川隆行 著

A5・上製・372頁 定価(本体5,600円+税) ISBN978-4-87259-392-1 C3021 [2012]

本書は、主に関西圏で経営する酒問屋や畳表、呉服問屋などが江戸に進出しての活動を取り上げる。関西ではよく知られ、現在まで続いている小西酒造、西川産業などの企業もある。地方史調査により発見された多くの一次資料を分析した力作。



大学アーカイブズの世界

菅 真城 著

A5・上製・296頁 定価(本体4,200円+税) ISBN978-4-87259-457-7 C3020 [2013]

大学アーカイブズとは何か。その社会的使命や理論についての研究と大学文書館での経験から本書は書き下ろされた。国立大学アーカイブの設立からその業務、大学の自己点検や評価そして教育研究にも資することを紹介する。また公文書管理法施行により国立大学アーカイブズがこれとどのように対応し、どんな課題が生まれたか。今後、大学アーカイブズがどのように活用されて利用者とかかわるのかを試論する。





阪大リーブル44

グローバルヒストリーと帝国

秋田 茂, 桃木至朗 編

四六・並製・224頁 定価(本体2,100円+税) ISBN978-4-87259-426-3 C1320 [2013]

グローバルヒストリーとは、国境と地域を越えて地球的規模で展開する人類史の課題の考察であり、本書では広域支配を目指す「帝国」に焦点が絞られる。しかも、西欧中心史観を相対化するため、アメリカや西欧の帝国にとどまらず、モンゴル帝国や日本帝国も重要な柱になっている。好評を博した前著『歴史学のフロンティア』に続き、大阪大学の挑戦として新たな歴史学方法論を提示する。



オランダ植民地体制下ジャワにおける宗教運動

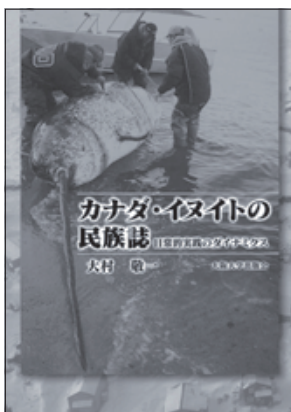
写本に見る19世紀インドネシアのイスラーム潮流

菅原由美 著

A5・上製・336頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-87259-422-5 C3022 [2013]

19世紀ジャワに関し、従来の社会経済史的研究を背景とし、宗教運動という独自の切り口から、イスラーム指導者リファイ、現地人官吏、オランダ人官吏によるそれぞれの視点で書かれた資料を響き合わせることで、多義的に歴史を叙述する。リファイがイスラームを定着させるためペゴン(アラビア文字表記のジャワ語)で記した著作をローマ字翻字した資料も掲載。現地調査、オランダ語、ジャワ語資料等を駆使した労作。

第12回東南アジア史学会賞



カナダ・イヌイトの民族誌

日常実践のダイナミクス

大村敬一 著

A5・上製・438頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-87259-455-3 C3039 [2013]

本書は、イヌイトと総称されるカナダ極北圏の先住民についての民族誌である。彼らはきびしい環境と生活空間への卓抜した知識と技術を身につけ、独自のナビゲーション装置(航法)を備えているが、著者はそのような能力を「日常実践の創造力」と名付ける。また、従来の人類学の基になってきた「客観性」と「科学性」を本質主義として批判し、イヌイトと生活をともにする中でその文化の内在的な記述を目指す。



大阪大学総合学術博物館叢書10

野中古墳と「倭の五王」の時代

高橋照彦, 中久保辰夫 編著

A4・並製・96頁 定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-87259-220-7 C1321 [2014]

大阪の河内周辺は多くの古墳があり、調査が進められていた。そのうち古市古墳群に属する野中古墳は出土資料が質・量ともに充実した遺跡である。出土品のうち11領の鉄製甲冑は、1つの古墳からの出た数としては日本でも傑出しており、襟付短甲と呼ばれる王権を代表する象徴的な甲冑も含む。1964年の発掘以来多くの甲冑類が未公開であったが、修復作業が完了し2013年初展示・公開され、図録が作成された。

経部引用書から見た「説文解字繫傳」注釈考

坂内千里 著

A5・上製・364頁 定価(本体6,900円+税) ISBN978-4-87259-458-4 C3087 [2014]

南唐徐鉉の著した『説文解字繫傳』は、現存する中国最古の字書『説文解字』の全体を通して注釈を施した最初の著作であり、『説文解字』研究上重要なものでありながら、ほとんど研究されてこなかった。本書では『説文解字繫傳』を再評価するため、その評価に深く関わるとされる注釈中に多用される『書』『易』『論語』『詩』『春秋』などの書物の引用について考察し、特に注釈の方法・特徴を明らかにする。



市民のための世界史

大阪大学歴史教育研究会 編／代表・桃木至朗

A5・並製・312頁 定価(本体1,900円+税) ISBN978-4-87259-469-0 C1320 [2014]

カリキュラムの矛盾や入試問題に災いされて、高校生の歴史認識は後退している。本書はそのような現状を跳ね返し、歴史を学ぶ意義や面白さをわからせることをモットーに、全国の高校教員と協力して作られた。西洋史中心をやめ、人名や年号は極力減らす、「像を結ぶ」「因果関係や背景がわかる」説明を目指す、要所に学習者への問いかけを挟むなど様々な工夫をこらす。歴史に親しむ習慣を養う。歴史好きの市民に向けた入試の副読本にも使える画期的な世界史。



戦国秦漢簡牘の思想史的研究

中村未来 著

A5・上製・342頁 定価(本体5,600円+税) ISBN978-4-87259-515-4 C3022 [2015]

2000年以上の時をへて発見された文献は、世界的に注目を集めてその研究が国際的に進んでいる。日本ではまだその研究者は少ない。本書では上海博物館や清華大学ほかに保存される竹簡を資料とし、中国戦国期～前漢初期の思想史の空白を埋め、通説に大きな修正を迫る。新出土文献の研究に必要な専門用語の解説や古文字の例などを付録として掲載し、中国古代史に興味を抱く研究者や一般にも理解しやすい基礎資料も盛り込む。



阪大リーブル50

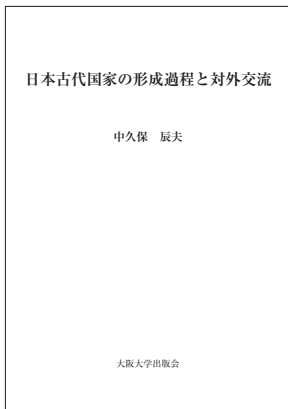
女たちの満洲 多民族空間を生きて

生田美智子 編

四六・並製・316頁 定価(本体2,100円+税) ISBN978-4-87259-432-4 C1322 [2015]

日本人、漢人、朝鮮人、満州人、蒙古人、ロシア人など、満洲に生きた多民族の女性たちのさまざまな側面に資料をもとに踏み込む。婚姻、消費生活、男たちの欲望の対象としての性、女子教育、正教会の信徒、雑誌や新聞、文学や映画の中の女性像、各民族のオーラルヒストリーなどを通し、満洲国という日本の植民地下で生きた女性たちの困難な姿が浮かび上がる。戦争や近代史の空白の領域に初めて光を投げかける。



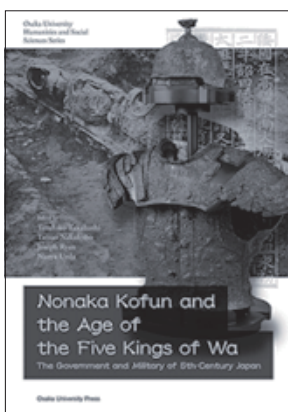


日本古代国家の形成過程と対外交流

中久保辰夫 著

B5・上製（函入）・310頁 定価（本体6,400円＋税） ISBN978-4-87259-578-9 C3021 [2016]

年間8000件近い日本国内の発掘調査と、2000年代以降急増した韓国内における発掘調査成果は、いま、従来の古代国家形成過程に更新を求めている。本書は、日本の国家形成期にあたる古墳時代を対象に、この時代の土器の特質、日韓交流の展開、韓半島から移住した渡来人の動向、そして古墳と集落にみる変化を基礎に、渡来文化の受容が果たした歴史的役割を解明しようとする考古学の専門書である。



Osaka University Humanities and Social Sciences Series [オンデマンド]

(英文) Nonaka Kofun and the Age of the Five Kings of Wa

The Government and Military of 5th-Century Japan

高橋照彦, 中久保辰夫, ライアン・ジョセフ, 上田直弥 編

A4・ペーパーバック・116頁 定価（本体8,000円＋税） ISBN978-4-87259-549-9 C1021 [2016]

大阪河内の古市古墳群に属する野中古墳の充実した出土資料を紹介した『野中古墳と「倭の五王」の時代』（大阪大学総合学術博物館叢書10, 大阪大学出版会, 2014年）の英語版。海外在住の考古学研究者、日本の歴史文化に関心のある読者に向け、待望の翻訳刊行。



礼服 (らいふく) 天皇即位儀礼や元旦の儀の花の装い

武田佐知子, 津田大輔 著

四六・上製・472頁 定価（本体3,900円＋税） ISBN978-4-87259-551-2 C1021 [2016]

歴代の天皇は何をまとってきたのか。変わりゆく激動の時代の中で最高礼装として変わらず伝え守られ、君臨してきた礼服（らいふく）。古代から明治維新までの天皇即位と朝賀の舞台裏で時々の歴史背景と実力者がドラマチックに交錯する。礼服に込められた意義、そして近・現代に一般に広がっていったドレスコードの変相。



阪大リーブル53

奇想天外だから史実 天神伝承を読み解く

高島幸次 著

四六・並製・212頁 定価（本体1,800円＋税） ISBN978-4-87259-438-6 C1321 [2016]

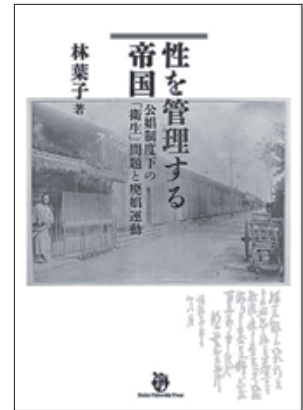
「創世神話」や「英雄伝説」には、荒唐無稽にみえるプロットやファクターから成り立っているものが少なくないが、その時代状況を分析することにより、そこに込められた深遠なメッセージが浮かび上がってくる。本書では、日本史上初めて人間を〈カミ〉に祀り上げた天神伝承をテキストとして、「七本松伝承」や「渡唐天神伝承」などにまつわる文献を丹念に辿り、読み解くことにより、意外な史実を紡ぎ出し、その面白さを伝える。

性を管理する帝国 公娼制度下の「衛生」問題と廃娼運動

林 葉子 著

A5・上製・544頁 定価(本体7,000円+税) ISBN978-4-87259-560-4 C3021 [2016]

日本における公娼制度とその存廃をめぐる議論の歴史を、徹底的な史料の裏付けのもとに再検討、学術的に、世界史的な視野から捉え直す。近代公娼制度が帝国の軍隊を維持するための性病対策であったことを重視し、それに関する「衛生」論が、階層を問わず、当時の人々に広く浸透していった経緯を明らかにした。廃娼運動が進められていく過程で形作られた家族観や、娼婦への人権侵害に関する議論の時代的变化についても詳述する。



阪大リーブル56

グローバルヒストリーと戦争

秋田 茂、桃木至朗 編著

四六・並製・352頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-87259-437-9 C1320 [2016]

第二次世界大戦時にイギリスで作られたこのポスターから、戦争がヨーロッパ全土、アメリカ、豪州、ソ連、中国、インド、植民地を動員する総力戦だったことがわかる。本書は、古代から現代までの戦争を、グローバル、リージョナル、ナショナル、ローカルの四層から鳥瞰した、『グローバルヒストリーと帝国』に次ぐ意欲作。

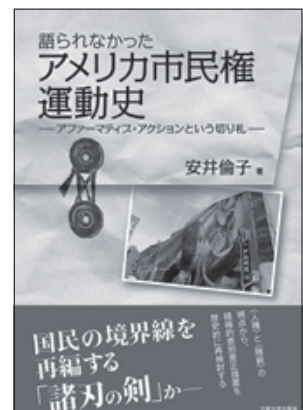


語られなかったアメリカ市民権運動史 アファーマティブ・アクションという切り札

安井倫子 著

A5・上製・258頁 定価(本体4,500円+税) ISBN978-4-87259-552-9 C3022 [2016]

1960年代以降のアメリカ社会における人種問題と市民権運動の歴史を、アファーマティブ・アクションの歴史的推移を中心に再考する。アメリカ国民の境界線の再編に深くかかわる「諸刃の剣」として統合と分断の役割を担わされてきたアファーマティブ・アクションについて、フィラデルフィアとリッチモンドを事例として、黒人労働者や労働組合の動向に焦点を当てて検証し、アメリカ人種問題の解決への糸口を探る。



開港期朝鮮の戦略的外交 1882-1884

酒井裕美 著

A5・上製・340頁 定価(本体6,200円+税) ISBN978-4-87259-531-4 C3022 [2016]

朝鮮国にとって開港期とは、1876年の日朝修好条規から1894年の日清戦争までを指すが、本書は1882年～1884年に焦点をあてる。この時期朝鮮国は独自の外交戦略をもち、清国、日本、アメリカとの交渉を主体的に振る舞ったことを、経理交渉通商事務衙門などの歴史資料をもとに明かす。朝鮮外交研究の空白を埋める貴重な仕事であり、今日の日韓・日朝関係のこじれの源流を考える糸口になる。





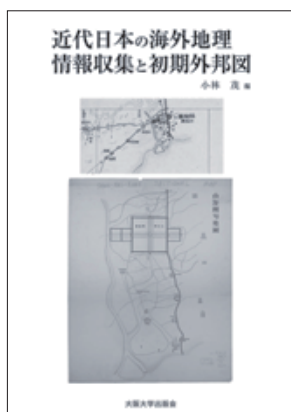
「正しい」イスラームをめぐるダイナミズム

タイ南部ムスリム村落
の宗教民族誌

小河久志 著

A5・上製・272頁 定価(本体4,600円+税) ISBN978-4-87259-520-8 C3022 [2016]

タブリーグというイスラーム復興運動団体の活動をタイ南部での長期調査により、初めて明らかにした。現在も続くこの地の反政府闘争とイスラームの結びつきや、固定化したムスリム世界観とは異なる側面、村の人びとの暮らしがわかる。調査中の2004年末に発生したインド洋津波の被害、政府や外部NGOなどの復興支援が与えた影響も取り上げる。

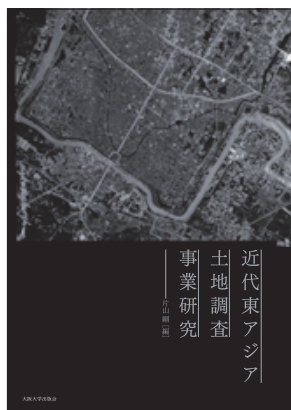


近代日本の海外地理情報収集と初期外邦図

小林 茂 編

B5・上製・220頁 定価(本体7,400円+税) ISBN978-4-87259-508-6 C3025 [2017]

近代日本の東アジア地理情報収集の初期の展開およびその社会との関係について分析する。明治初期の輸入地図の複製と編集のほか、1880年代に日本陸軍将校が中国大陆、台湾、朝鮮半島を旅行し、作製した地図（全509点）の作成過程について、それらが移管されたアメリカ議会図書館での調査による膨大な資料から分析する。画像データベースの構築プロセスを紹介し、詳細目録も掲載。

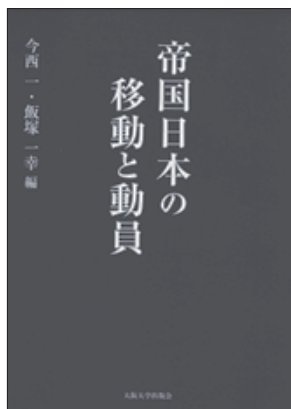


近代東アジア土地調査事業研究

片山 剛 編

B5・上製・464頁 定価(本体11,000円+税) ISBN978-4-87259-558-1 C3022 [2017]

近現代中国を対象に、地形図・地籍図や空中写真等の地理空間情報を用いた可視的研究は、中国における資料公開の制約もあり、皆無であった。本書は台湾・米国での資料発掘によってその制約を乗り越え、地理空間情報を本格的に利用した世界最初の研究である。文書資料も用い、近代東アジアの土地調査・土地制度改革における中国の位置、国民政府期の南京における〈近代中国的〉土地登記の最前線、一田両主制の新タイプ等を考察。



帝国日本の移動と動員

今西 一，飯塚一幸 編

A5・上製・364頁 定価(本体5,800円+税) ISBN978-4-87259-596-3 C3021 [2018]

日本がアジアに侵略した時代。朝鮮沿岸への出漁、明治農政の技師育成と韓国への移動、台湾高地での土地の囲い込み、樺太における「国内植民地」、満州の鉱業移民他を検証、国内、硫黄島の住民問題、また朝鮮における妓生の社会的活動や愛国婦人会活動、在韓日本人女性の帰還ほか全10章に亘って詳細に論じる。

多元性の都市イスタンブル

近世オスマン帝都の都市空間と
詩人、庶民、異邦人

宮下 遼 著

A5・上製・436頁 定価(本体5,800円+税) ISBN978-4-87259-593-2 C3022 [2018]

東西の文物が行き交う国際貿易として、そしてオスマン朝という巨大国家の帝都としての求心力を誇った、近世イスタンブル。本書はこの都市空間にほぼ同時期に居合わせた観察者たちを、帝国文化を担うオスマン詩人という「文化的選良層」、都市の商工業者によるムスリム、非ムスリムの「庶民層」、そして旅行者、滞在者という「異邦人」に分類し、彼らが残した記述からイスタンブルの都市像を多角的に抽出する。



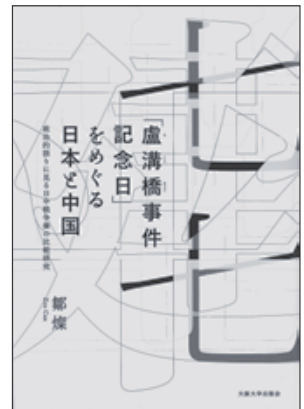
「盧溝橋事件記念日」をめぐる日本と中国

政治的語りに見る日中戦争
像の比較研究

鄒 燦 著

四六・上製・294頁 定価(本体4,700円+税) ISBN978-4-87259-594-9 C3020 [2018]

本書は、盧溝橋事件を発端とする日中全面戦争期の日本と中国において、「七月七日」が如何に戦時国民動員に結び付けて記念されたかを比較検討し、その過程で構築された日中戦争像の差異を考察したものである。同時代の戦争認識の形成過程と、そこに生じた両国の差異がどのように戦後に継承されたかを確認し、戦時と戦後との連続面に留意した長期的な日中戦争像を提供する必要があるという問題提起をおこなう。



植民暴力の記憶と日本人

台湾高地先住民と脱植民の運動

中村 平 著

A5・上製・250頁 定価(本体5,000円+税) ISBN978-4-87259-609-0 C3022 [2018]

日本植民地統治で青年期まで過ごした台湾先住民の「暴力の記憶」想起と史料の批判的検討から、帝国日本のコロニアリズムが植民された人々のみならず植民側の歴史認識にも影響を与えてきたことを明らかにする。日本人と台湾高地先住民のコロニアルな出会いの歴史経験を民族誌として詳細に記述し、社会を構成する力と生きる力をコンタクト・ゾーンの現場から問い直すことで、脱植民運動に「日本人」が参画していく道を切り開く。



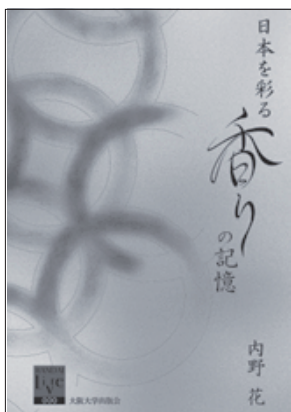
清代珠江デルタ図甲制の研究

片山 剛 著

A5・上製・450頁 定価(本体6,600円+税) ISBN978-4-87259-613-7 C3022 [2018]

明初に中国全土に施行された里甲制(土地税等の公租・公課を徴収する制度)のうち、広東省珠江デルタにおいて清末・民国期まで特殊に存続した図甲制の制度的構造とともに、その構造を支えた社会的基盤を、江戸時代の村請制度と対比しつつ解明。図甲制が、土地税等の徴収・納入制度にとどまらず、華北や華中の歴史と対比した際に浮き彫りになる、珠江デルタの歴史がもつ個性を解明していく鍵となることを指摘する。





阪大リーブル68

日本を彩る香りの記憶

内野 花 著

四六・並製・224頁 定価(本体1,600円+税) ISBN978-4-87259-636-6 C1320 [2018]

仏教伝来とともに香りはじめる沈香（じんこう）から夏目漱石の『三四郎』のヘリオトロープの香りまで、日本の物語や史実のなかで生きた人々とともに記された香りは、人物や出来事の記憶をあざやかに彩ってきました。海を渡って来る海外のさまざまな香りも、身近な花の香りも、人びとは生活の中へ折々に取りいれて楽しみ、色さえ香りを感じて現代まで親しんできました。このような香りの数々を楽しく紹介！



阪大リーブル65

古墳時代に魅せられて

都出比呂志 著

四六・並製・210頁 定価(本体1,700円+税) ISBN978-4-87259-447-8 C1320 [2018]

著者が考古学—とりわけ古墳時代—に興味を抱き、研究してきた跡をたどりながら、市民は何に関心を求めているのかを追求する。なぜ古いむかしを研究するのか。クニが生まれる前から人は暮らし、富を得てクニが誕生すると貧富の差が出来、支配・被支配の人間関係が生まれて戦争へと向かっていく。その歴史を遺物や遺跡を直接見ることによって、現代人は自分たちの問題が見えてくるのではないかと著者はいう。